

韓国化粧品産業の現状と課題

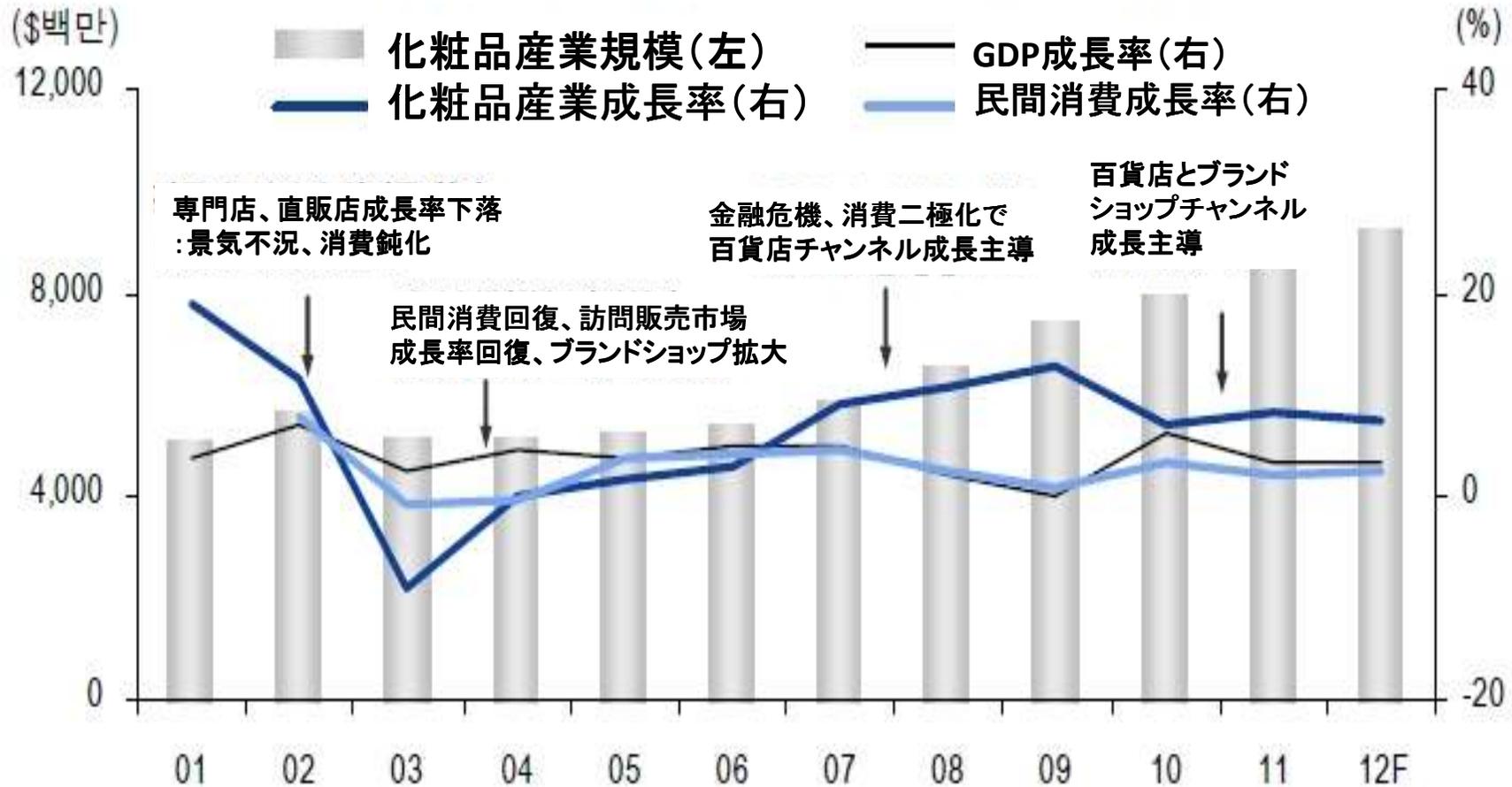
—2000年代以降の輸出・輸入の時系列変化からの一考察—

福岡女学院大学
国際キャリア学部
国際キャリア学科
パク ヒソン
朴 熙成

本日の発表

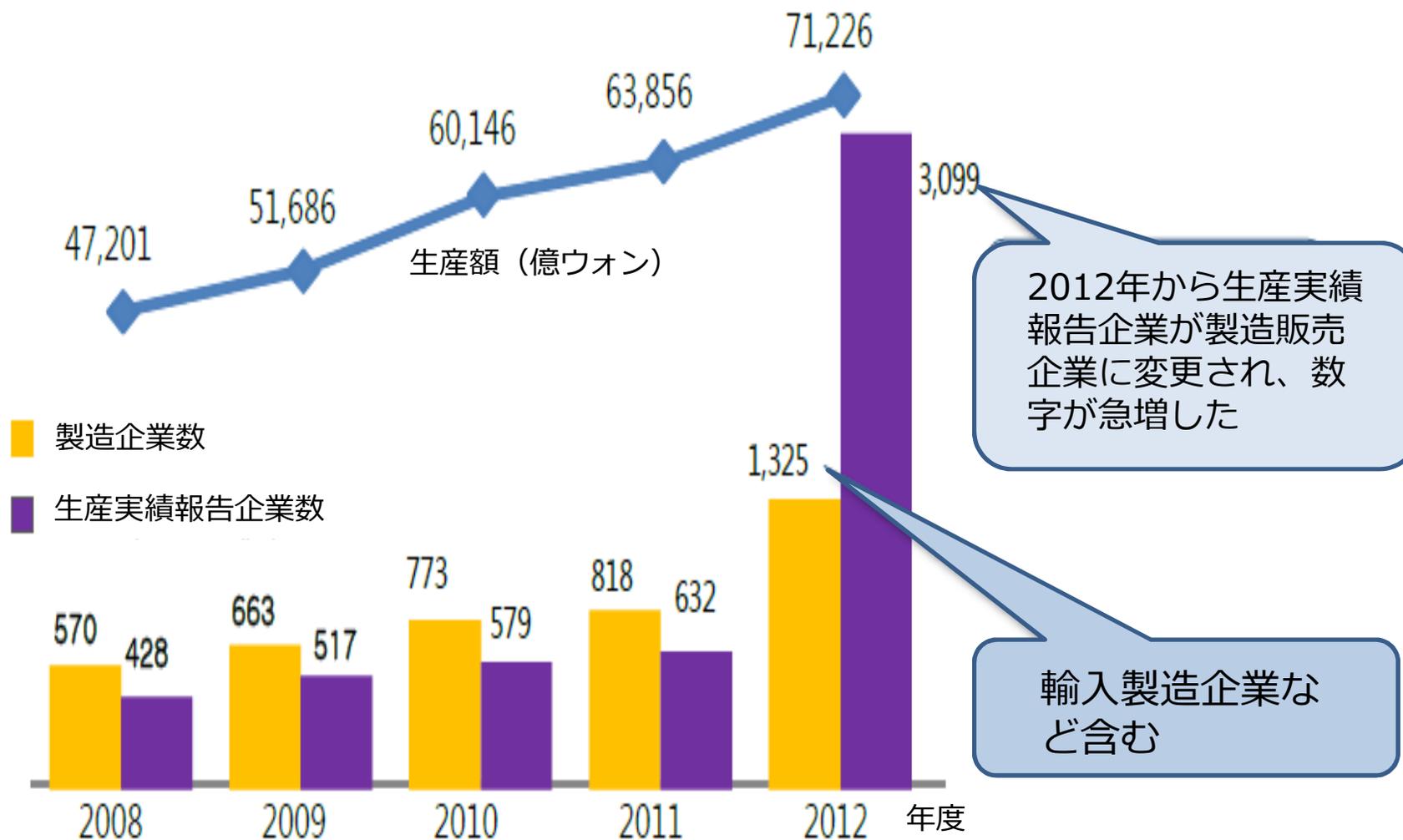
- 研究の目的
- 韓国化粧品産業の現状
 - 化粧品市場概況
 - 流通チャンネル
 - 化粧品産業の輸出・輸入
 - 化粧品原料の輸出・輸入
 - 海外直接投資
 - R&D
- 本研究における発見
- 今後の課題

韓国化粧品市場の概況



出所: 韓国銀行、NH農業証券

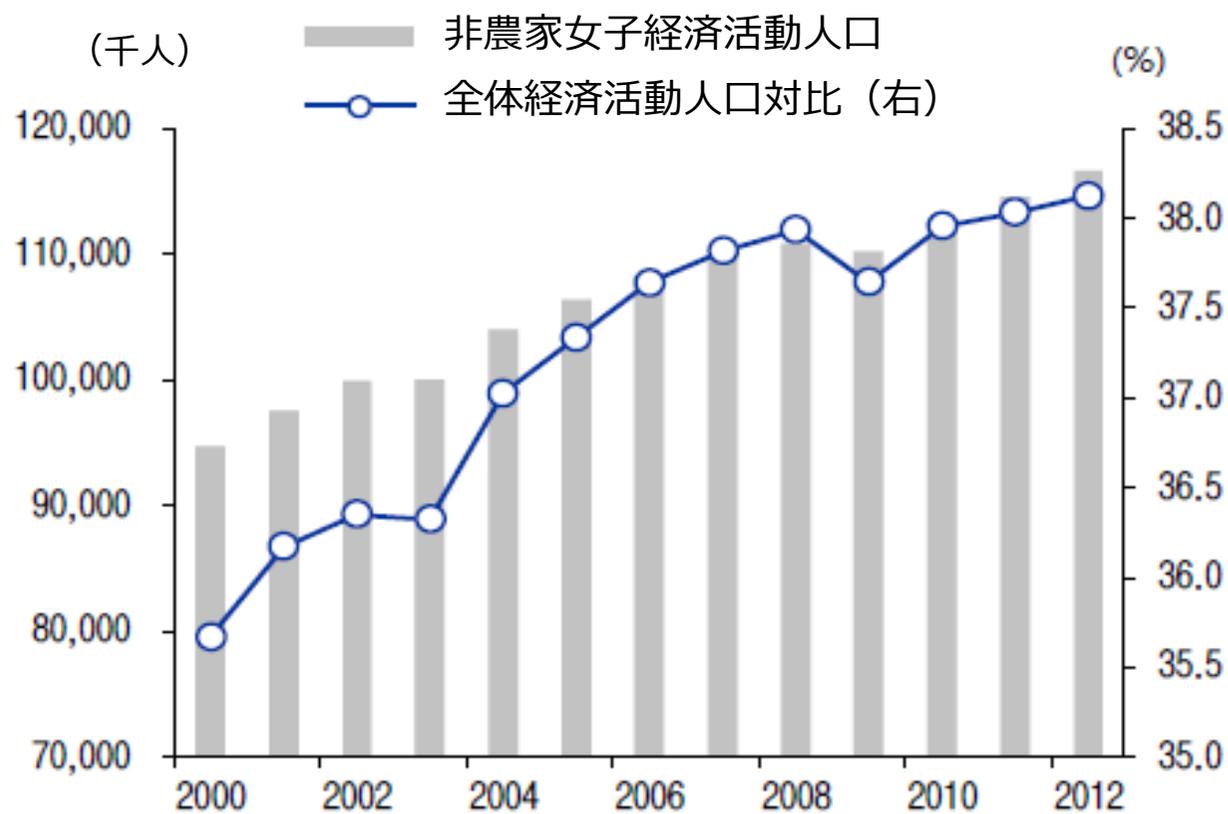
韓国化粧品生産および製造企業の推移



韓国化粧品産業の現況

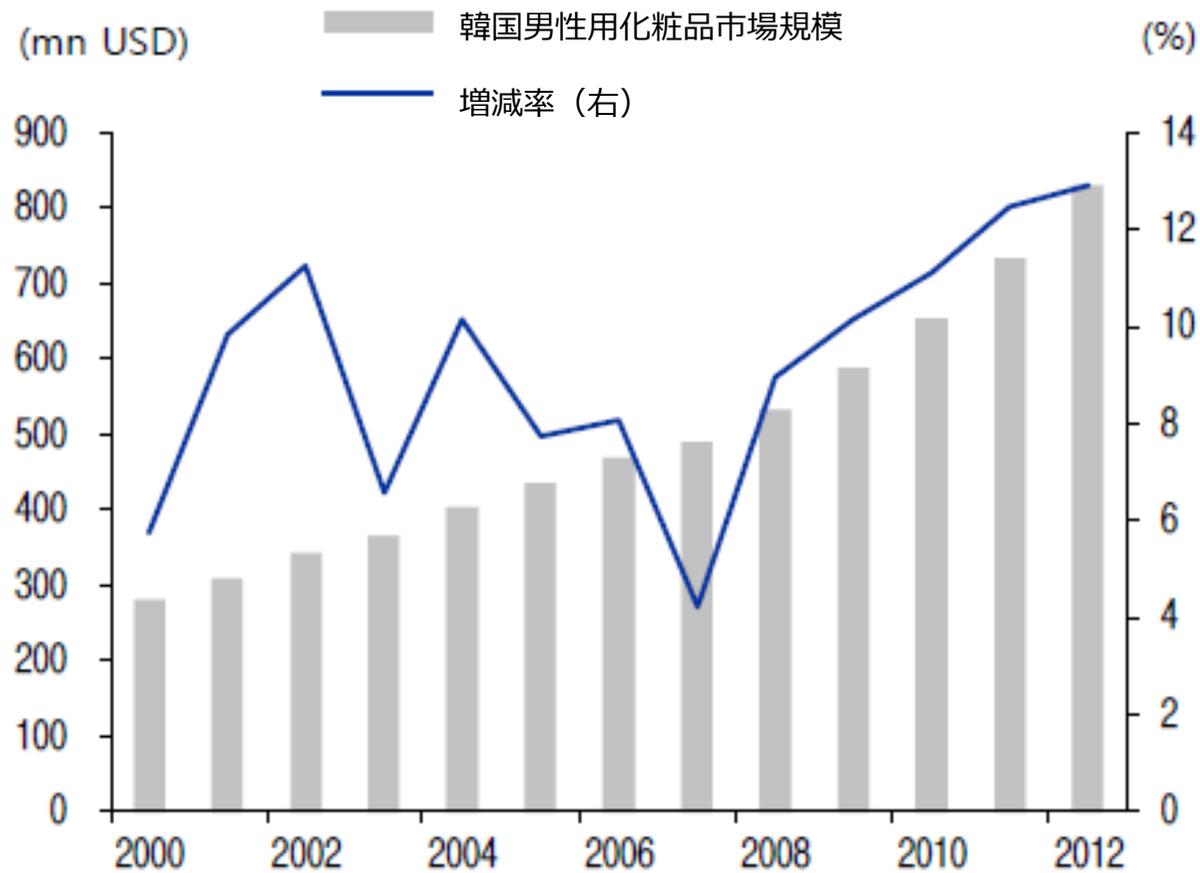
- 成長
 - 女性の社会進出⇒購買力増加
 - 男性の化粧品に対する認識の変化
 - 機能性化粧品（美白、アンチエイジングなど）
 - 市場の二極化
 - 高価：百貨店、免税店、訪問販売
 - 中低価：ドラッグストア、オンラインショッピング、ブランドショップ

韓国内女性の経済活動拡大



出所：韓国統計庁

韓国国内男性化粧品市場の急増



出所 : Euro monitor

ブランド

価格帯

売り方

販売チャンネル

Luxury

高価

カウンセリング

訪問販売
百貨店
免税店

Premium

中価

専門店
量販店 (GMS)
ドラッグストア
オンラインショップ

One brand
shop

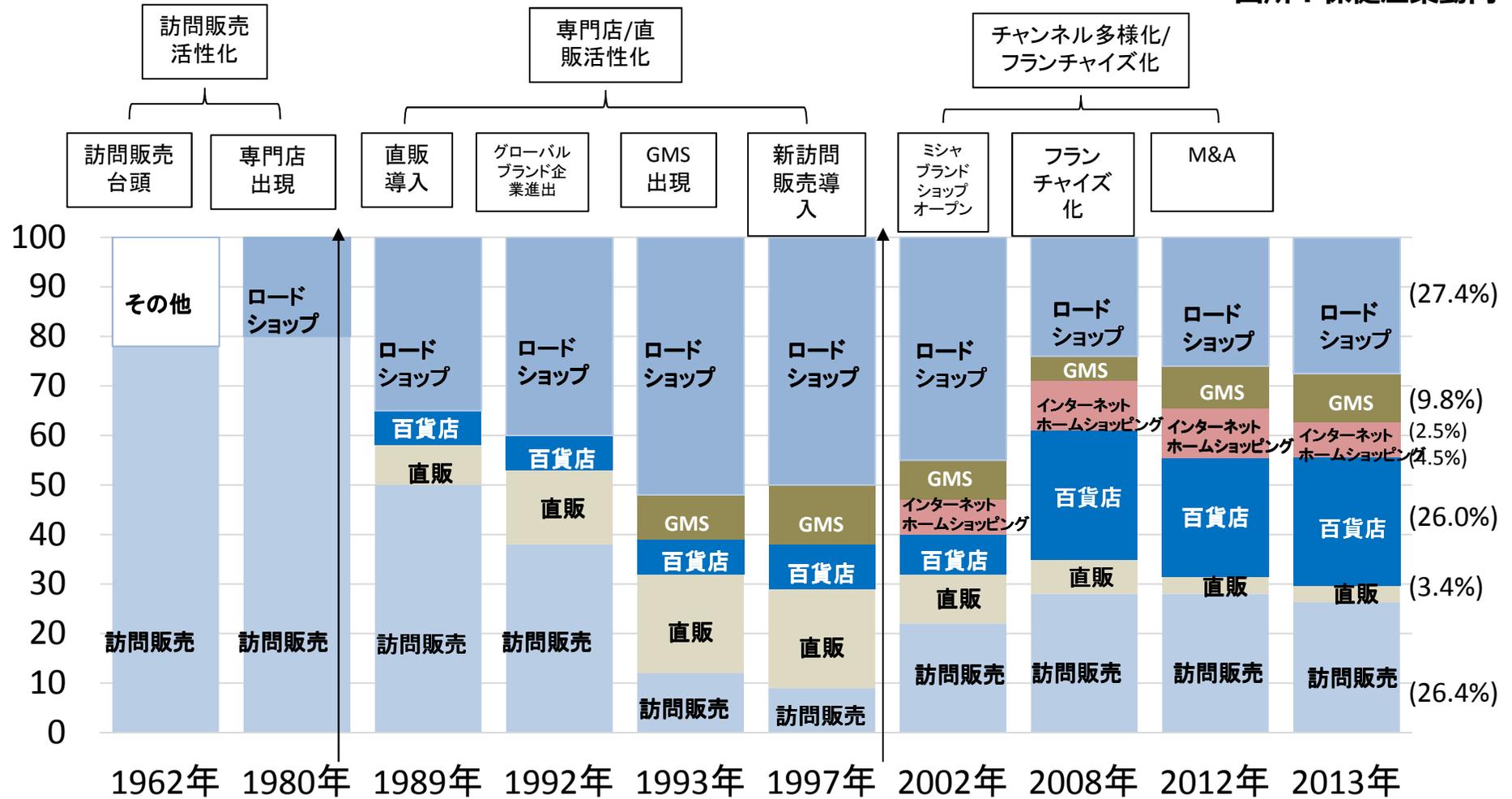
低価

セルフ

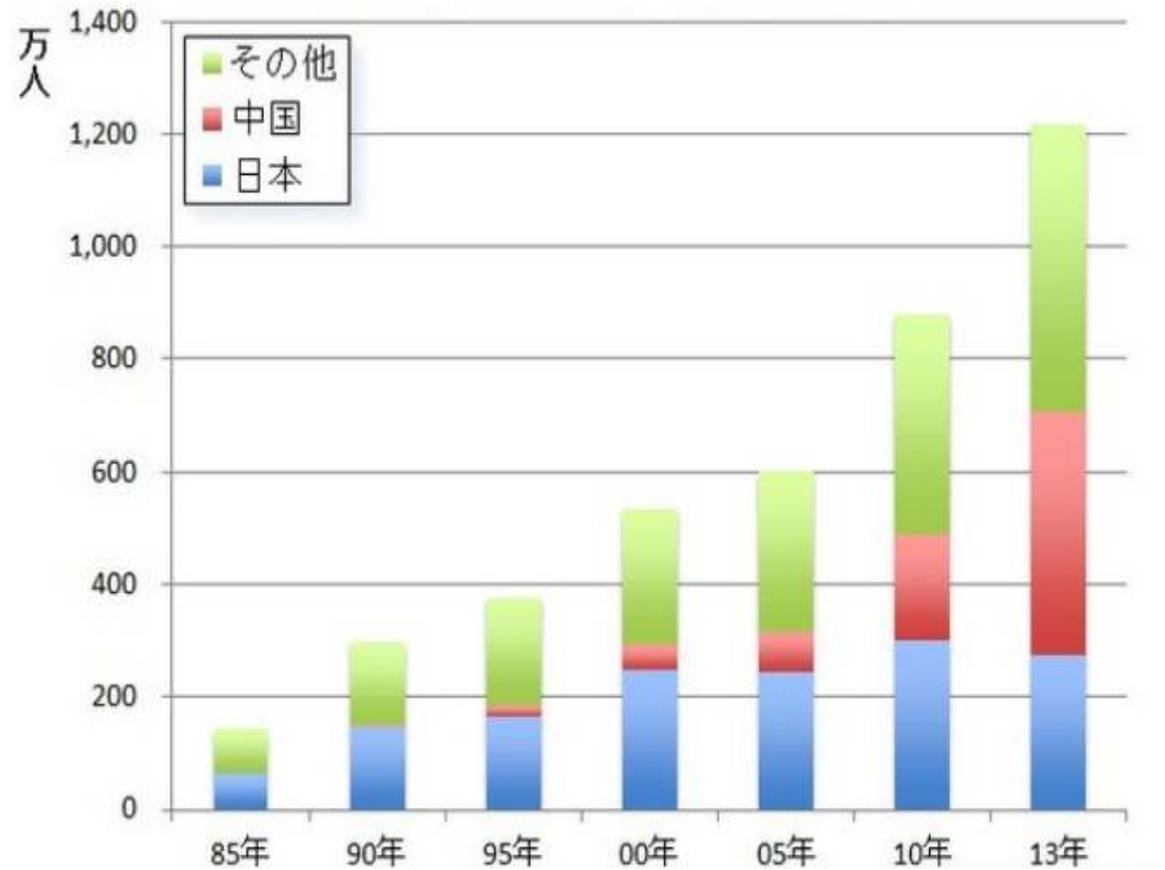
ブランドショップ

韓国国内流通チャンネルの変化

出所：保健産業動向

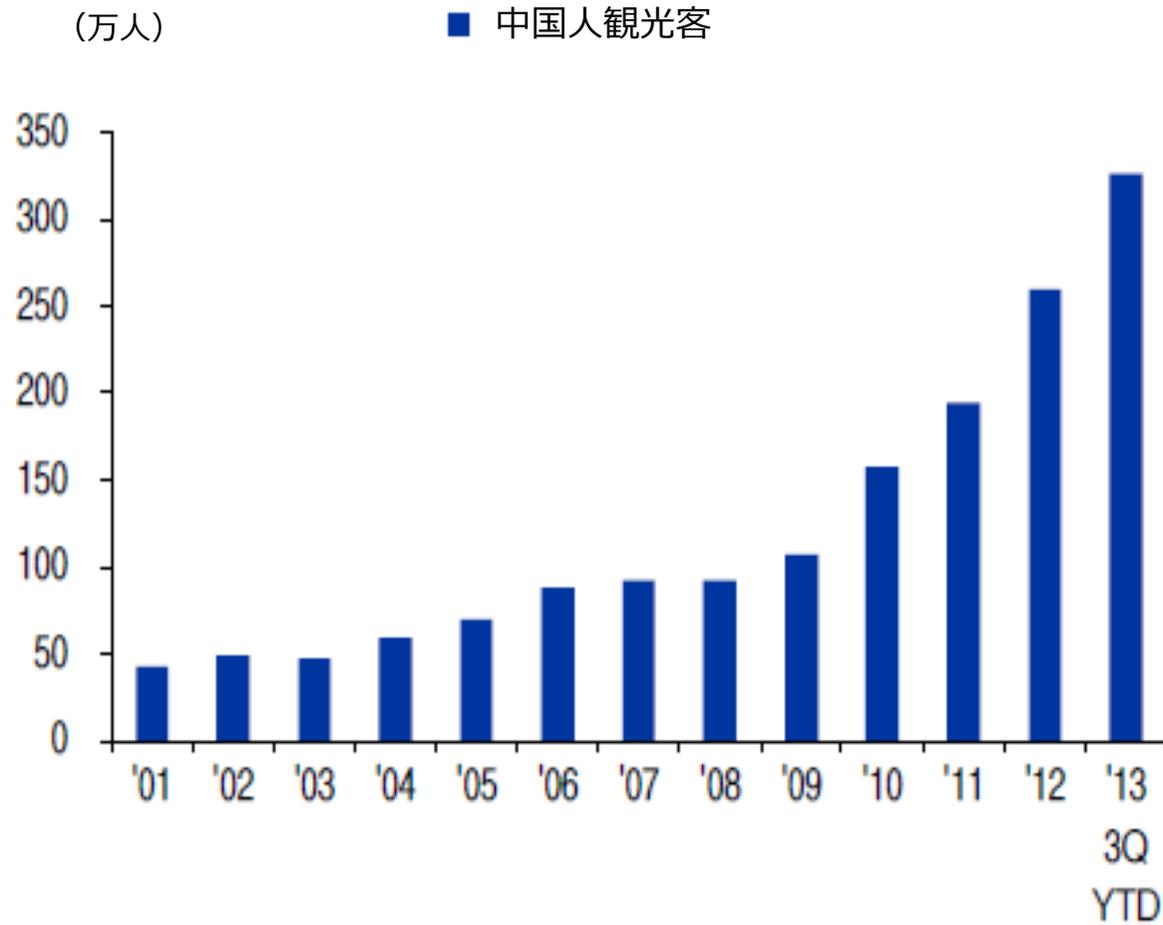


韓国を訪れる外国人数の推移



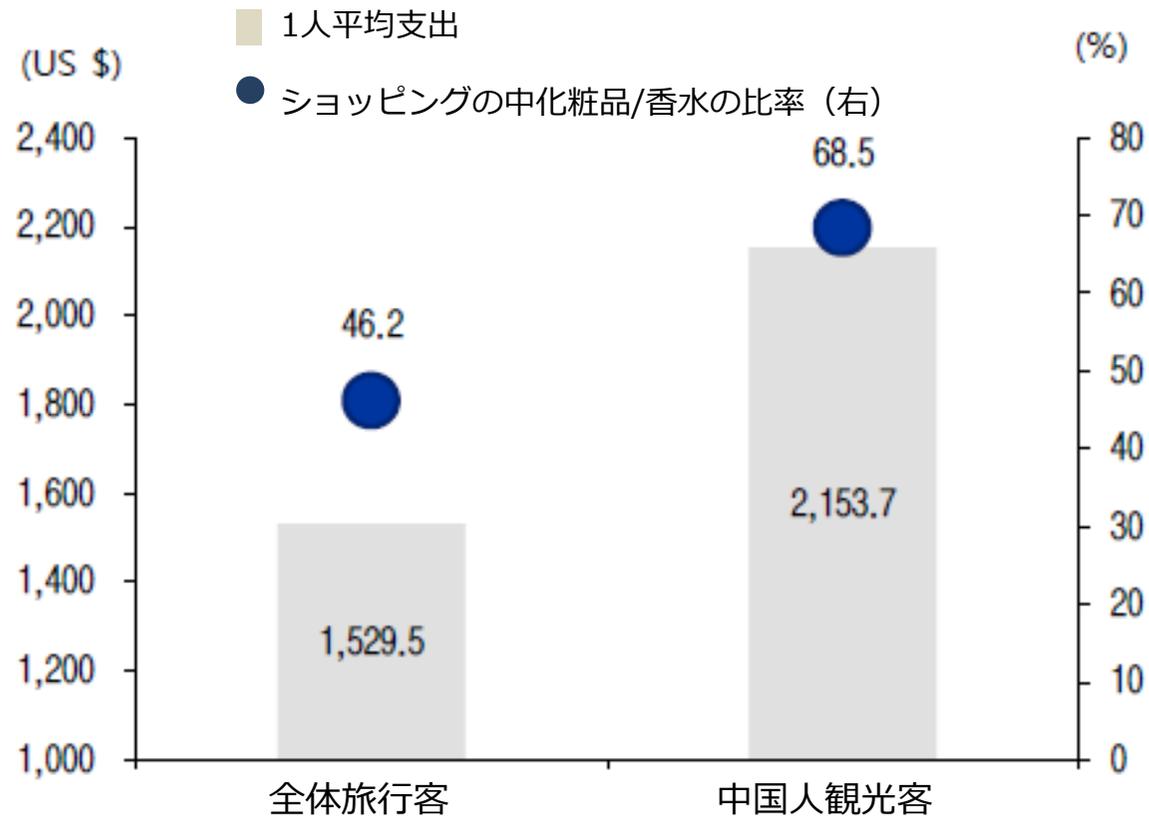
出所:韓国観光公社

韓国訪問中国人観光客推移



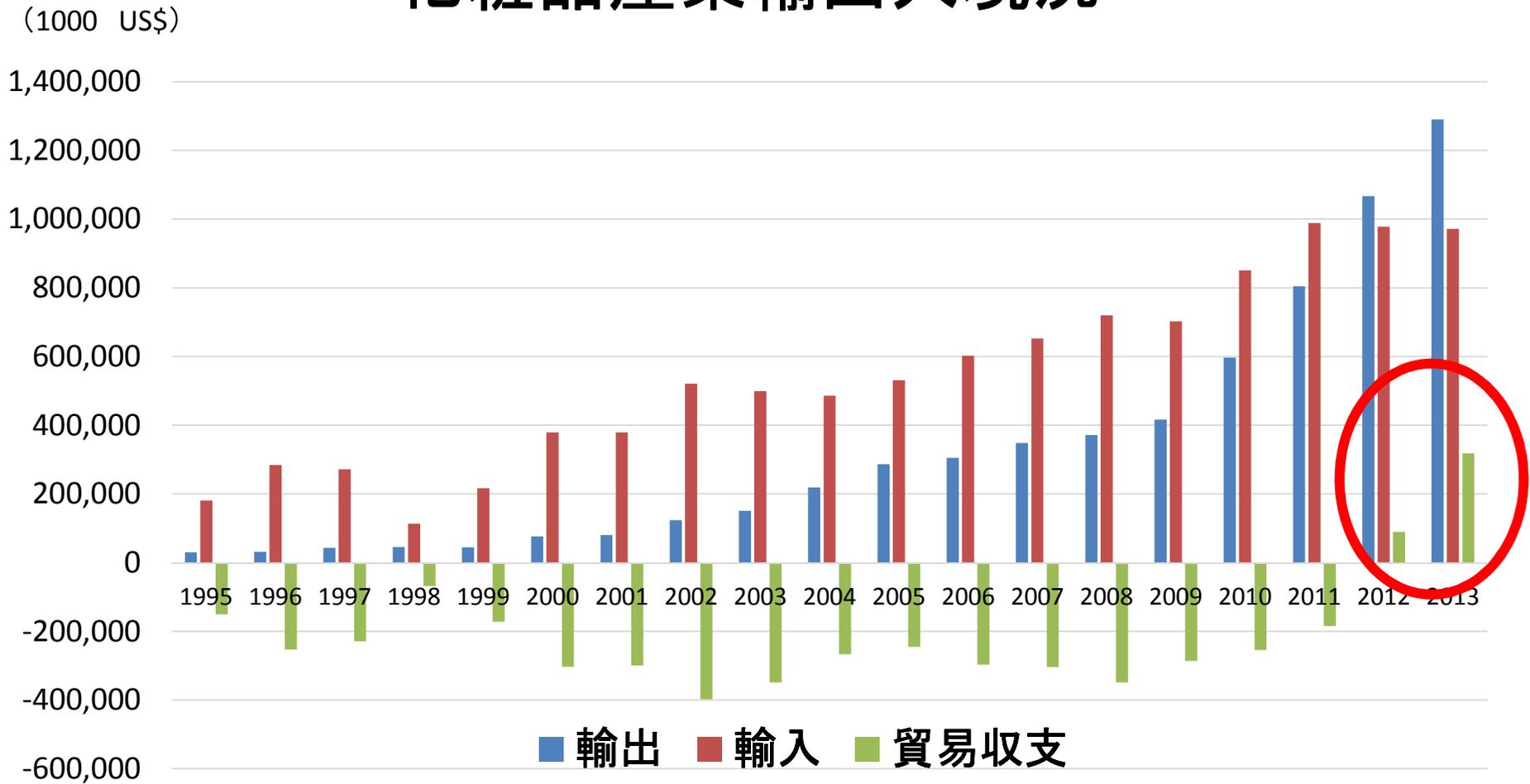
出所：韓国観光公社

中国人観光客の支出傾向



出所：韓国文化体育観光府

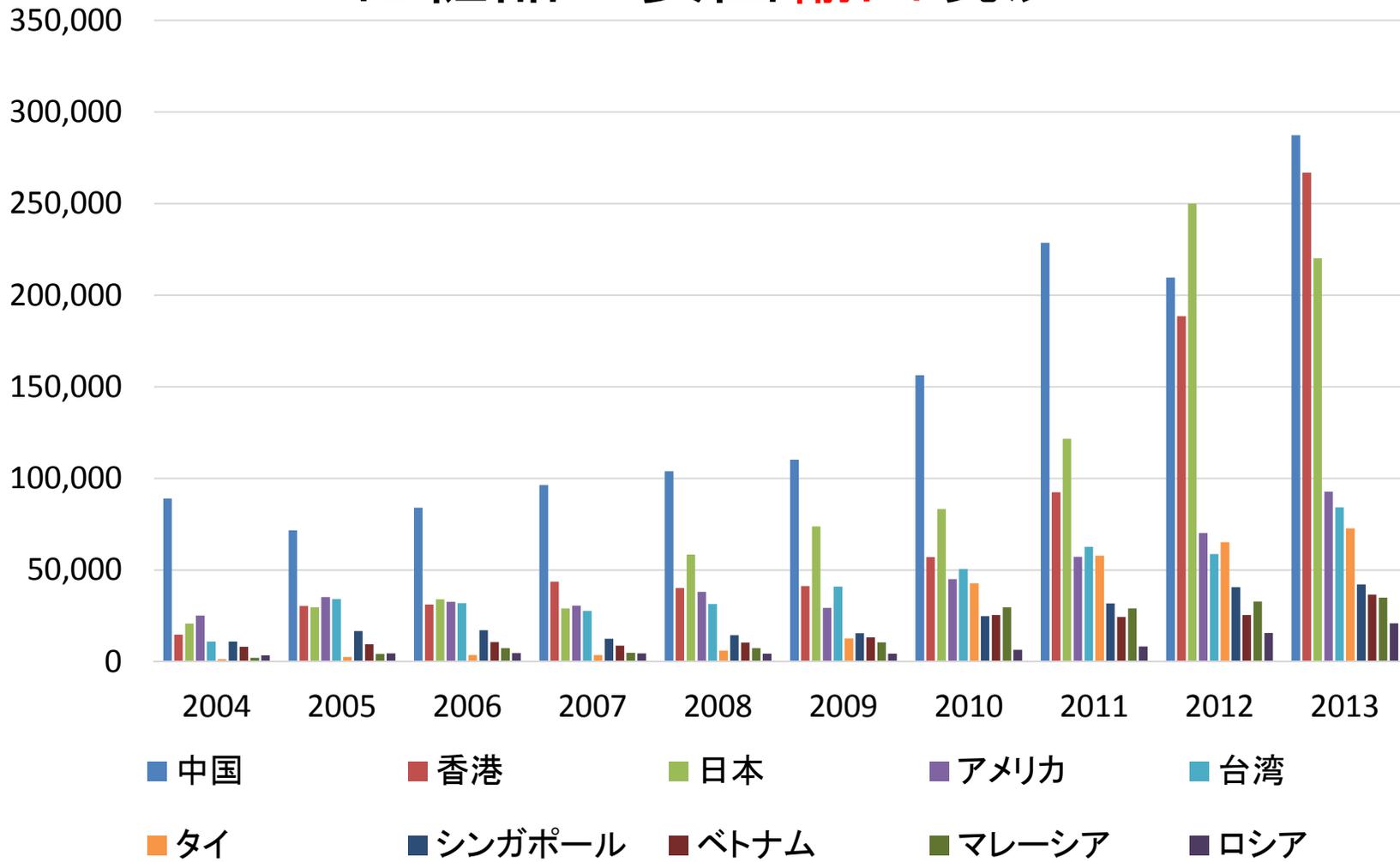
化粧品産業輸出入現況



出所: 韓国医薬品輸出入協会、Facts & Survey Report, 各年度

化粧品主要国輸出現況

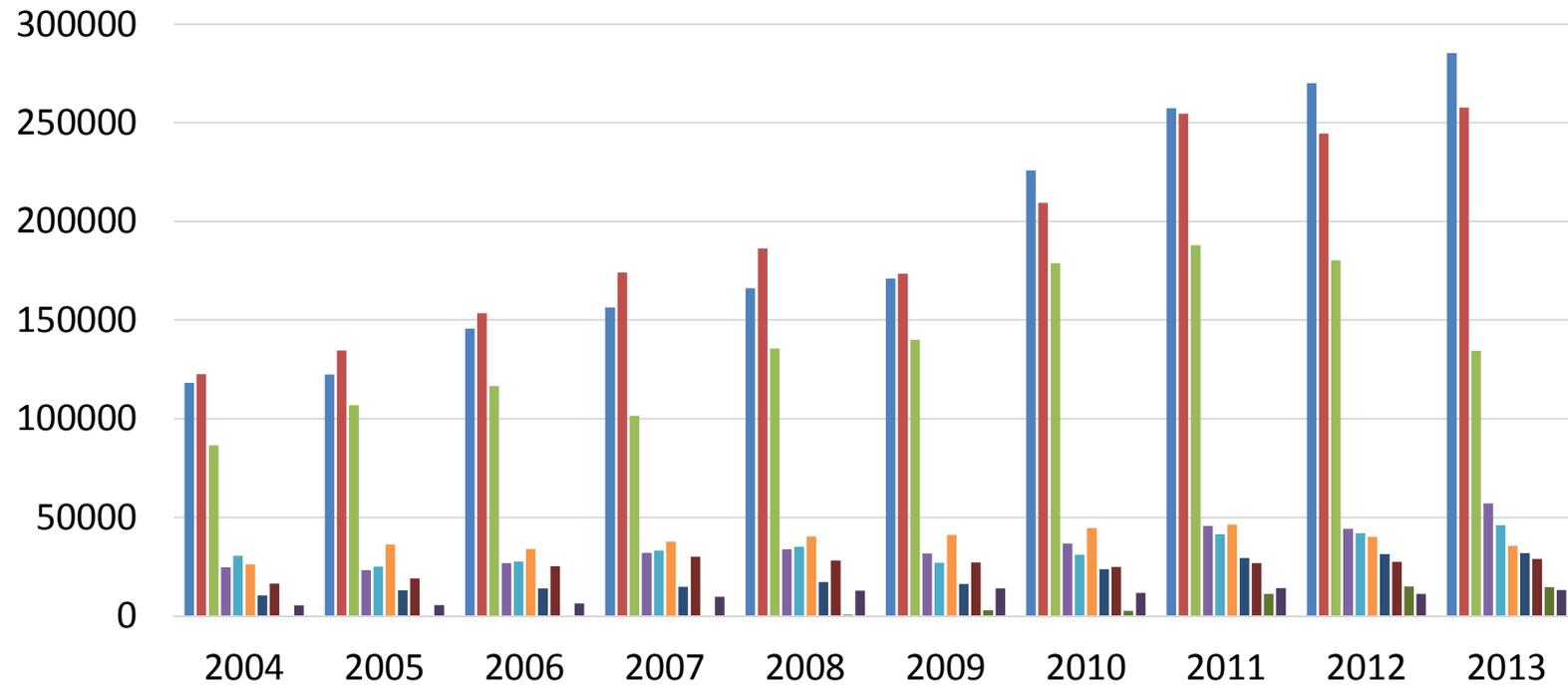
(1000 US\$)



出所: 医薬品輸出入協会(2007), 関税庁輸出入統計(2010), 韓国保健産業振興院(2013)

化粧品主要国輸入現況

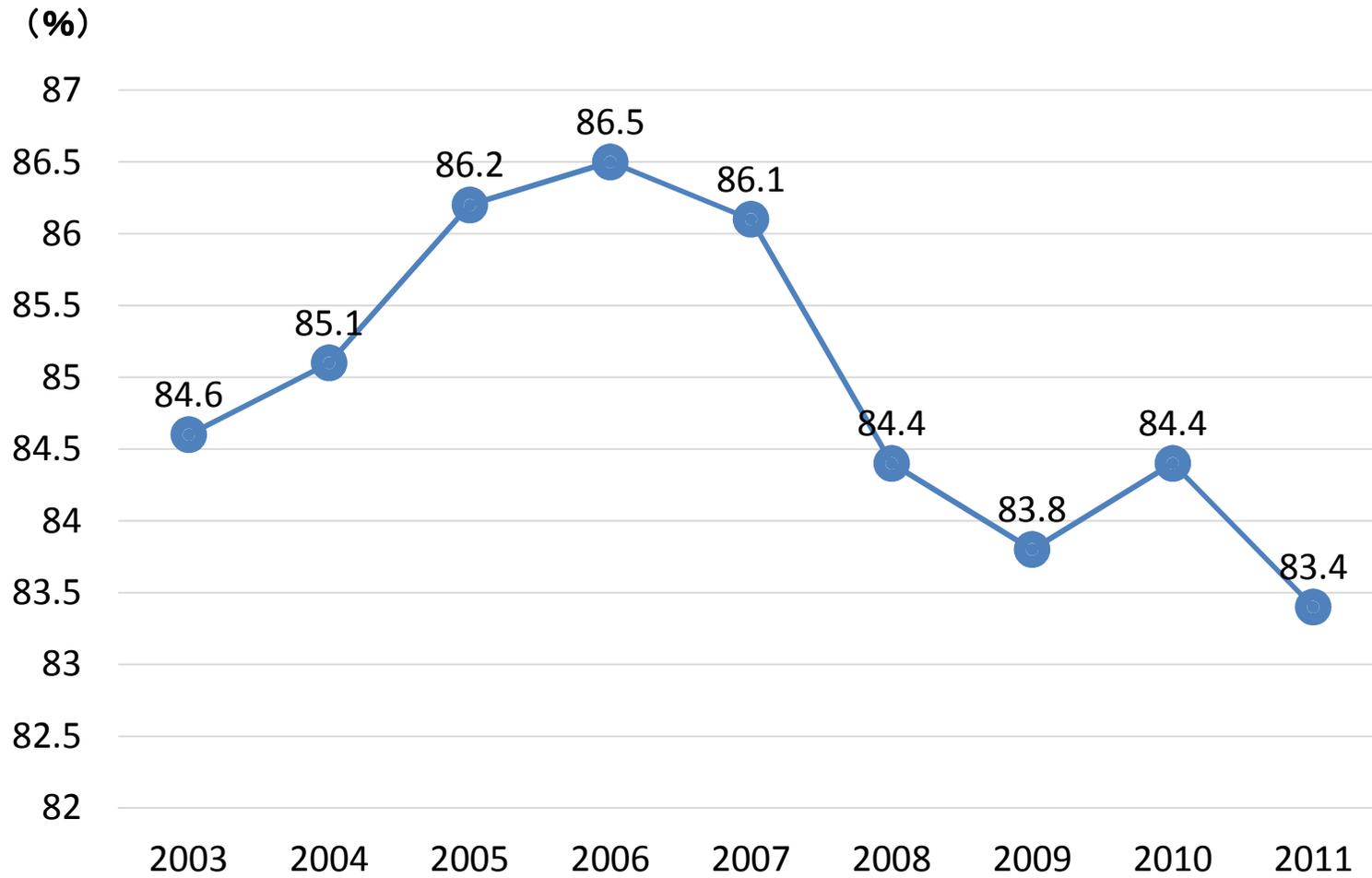
(1000 US\$)



- アメリカ
- フランス
- 日本
- イタリア
- イギリス
- タイ
- カナダ
- ドイツ
- アイルランド
- 中国

出所: 医薬品輸出入協会(2007), 関税庁輸出入統計(2010), 韓国保健産業振興院(2013)

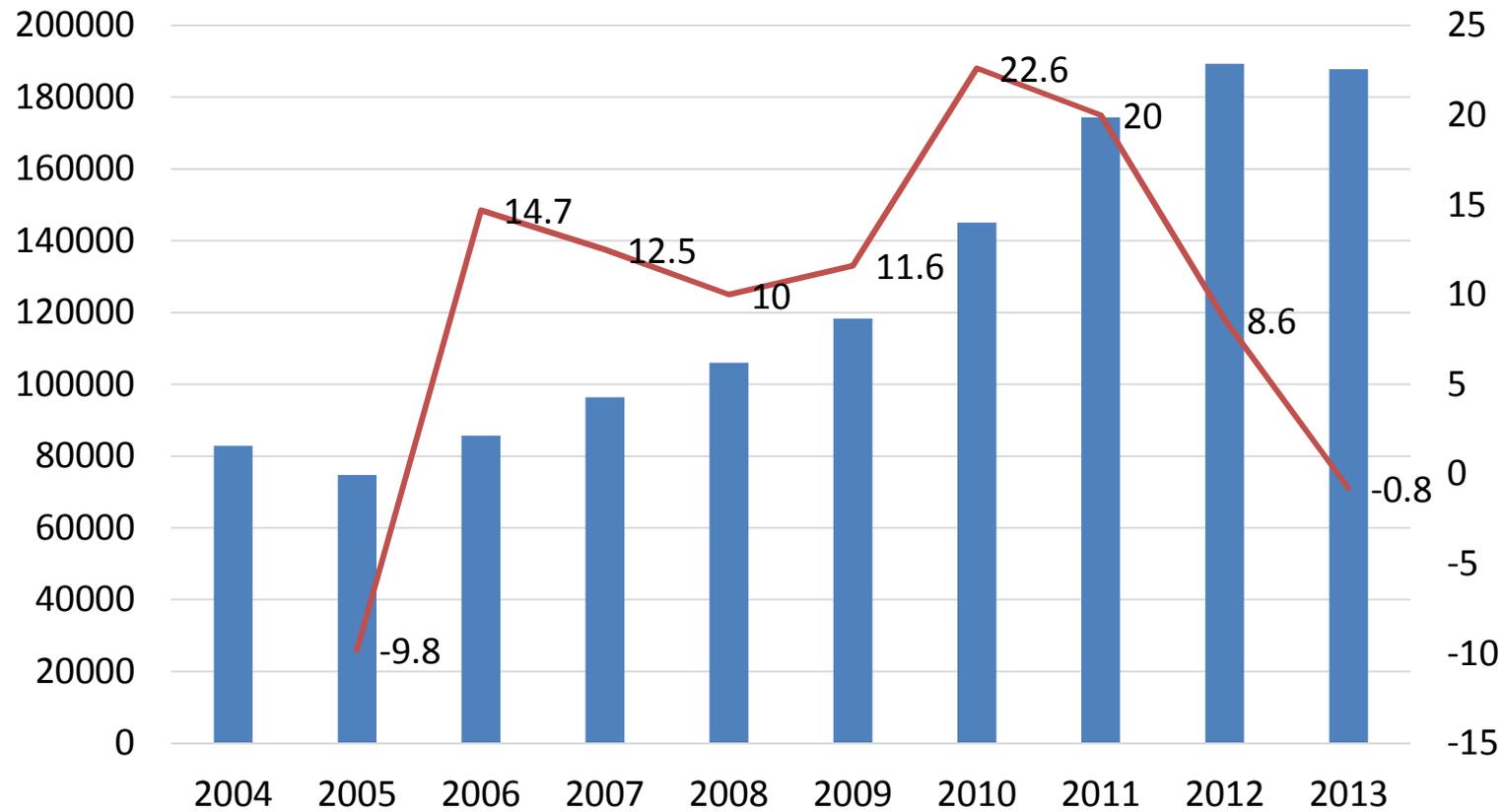
化粧品国内自給率



出所:大韓化粧品協会, 化粧品生産実績資料,各年度
韓国医薬品輸出入協会, Facts & Survey Report, 各年度

化粧品産業原料輸入現況

(1000 US\$, %)

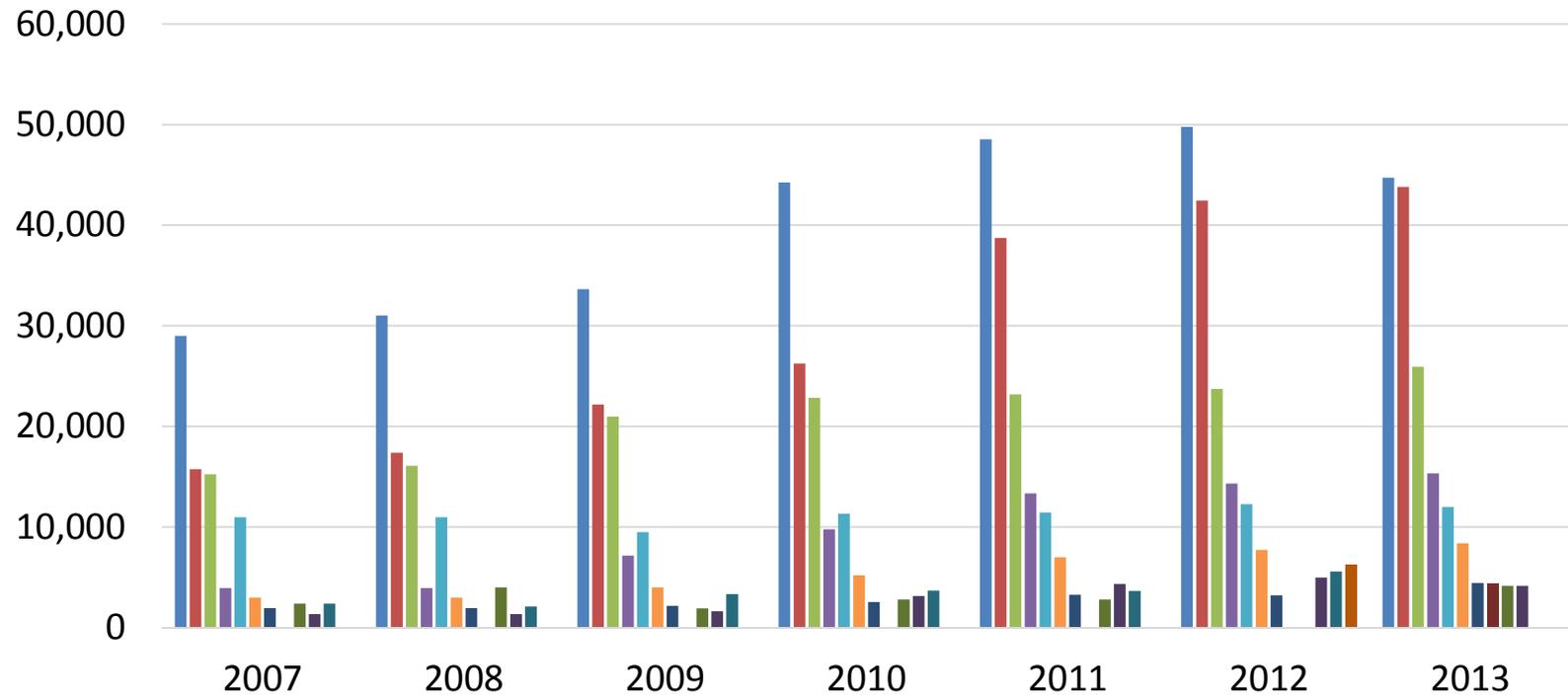


■ 輸入額 — 前年対比増加率

出所: 韓国医薬品輸出入協会, Facts & Survey Report, 各年度
韓国保健産業振興院(2013)

化粧品原料主要国輸入現況

(1000 US\$)



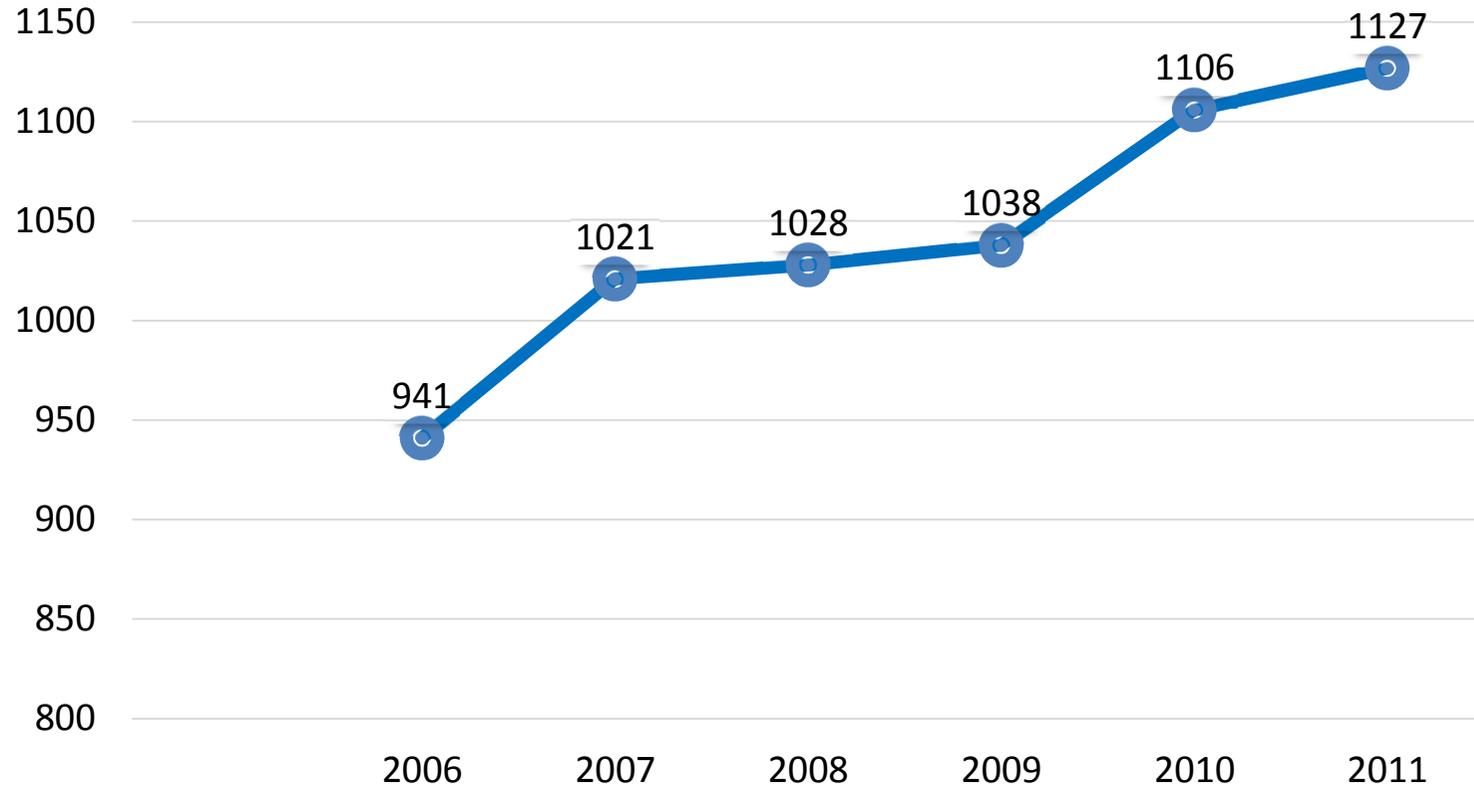
日本
 アメリカ
 ドイツ
 中国
 フランス
 マレーシア

イタリア
 インド
 スペイン
 台湾
 イギリス
 インドネシア

出所:化粧品産業分析報告書(2012), 韓国保健産業振興院(2013)
 韓国医薬品輸出入協会, Facts & Survey Report, 各年度

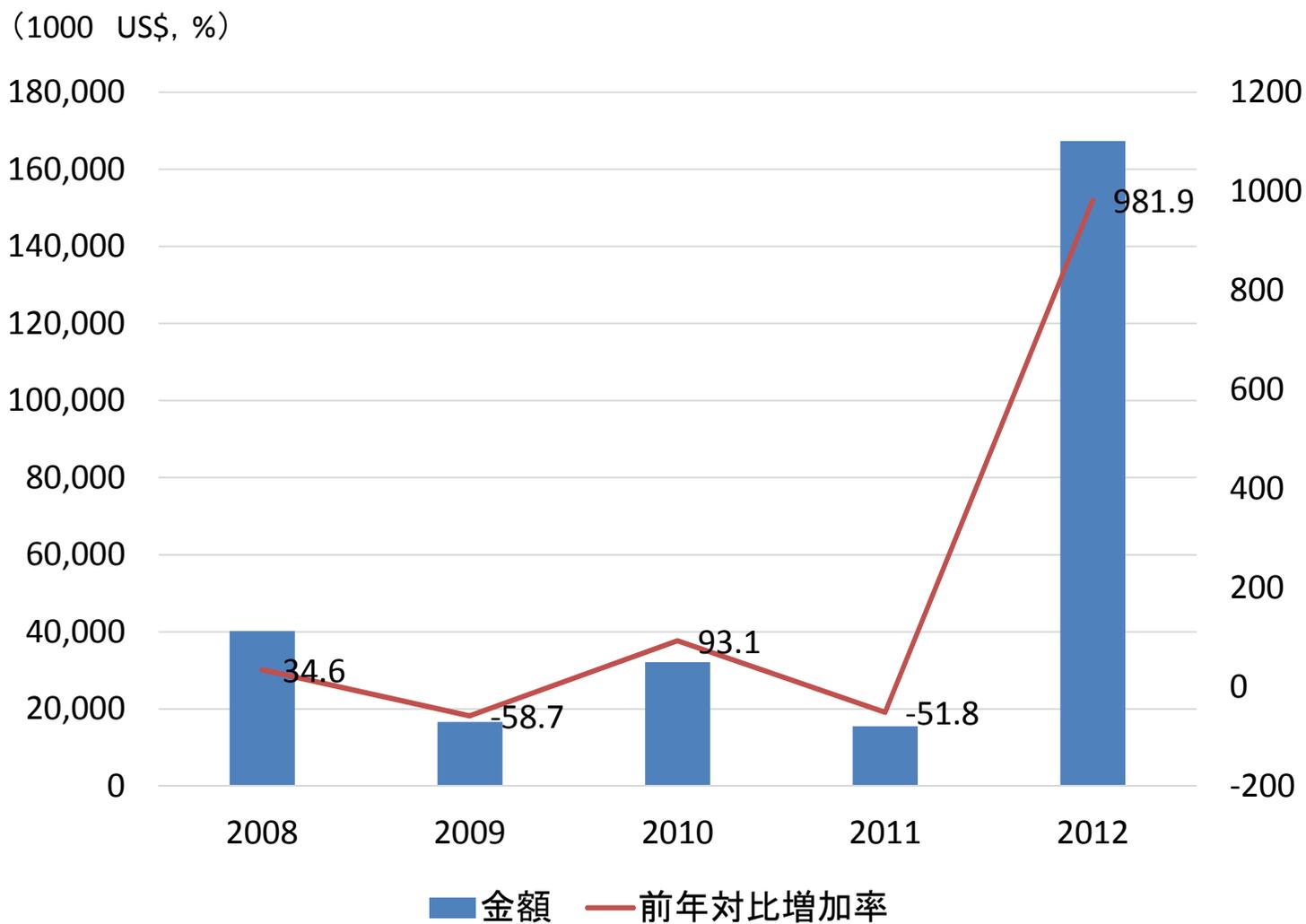
化粧品輸入社数

(業体数)



出所: 関税庁輸出入統計(2010), 大韓化粧品協会(2011)

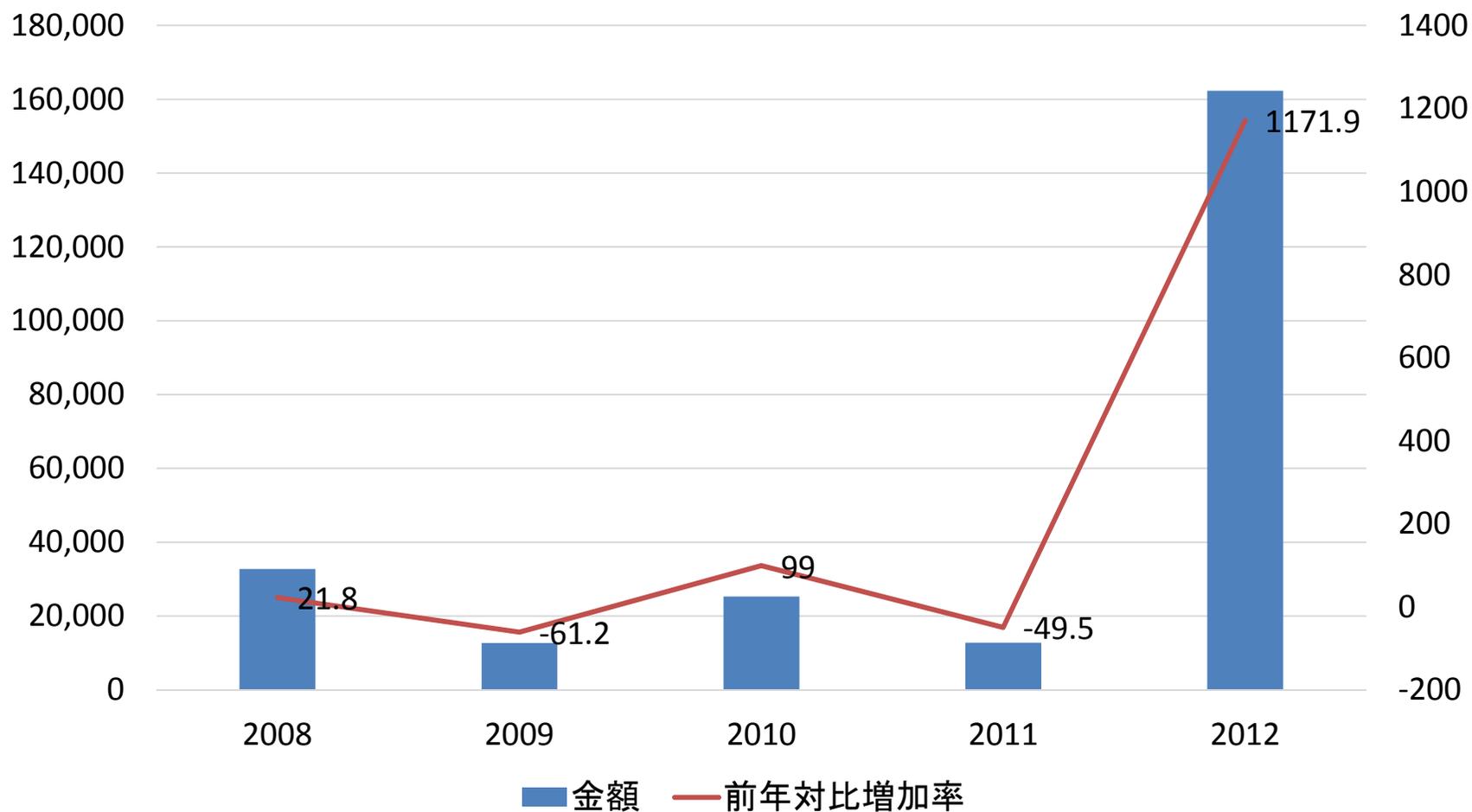
化粧品海外直接投資現況(申告額)



出所: 韓国保健産業振興院, 各年度

化粧品海外直接投資現況(送金額)

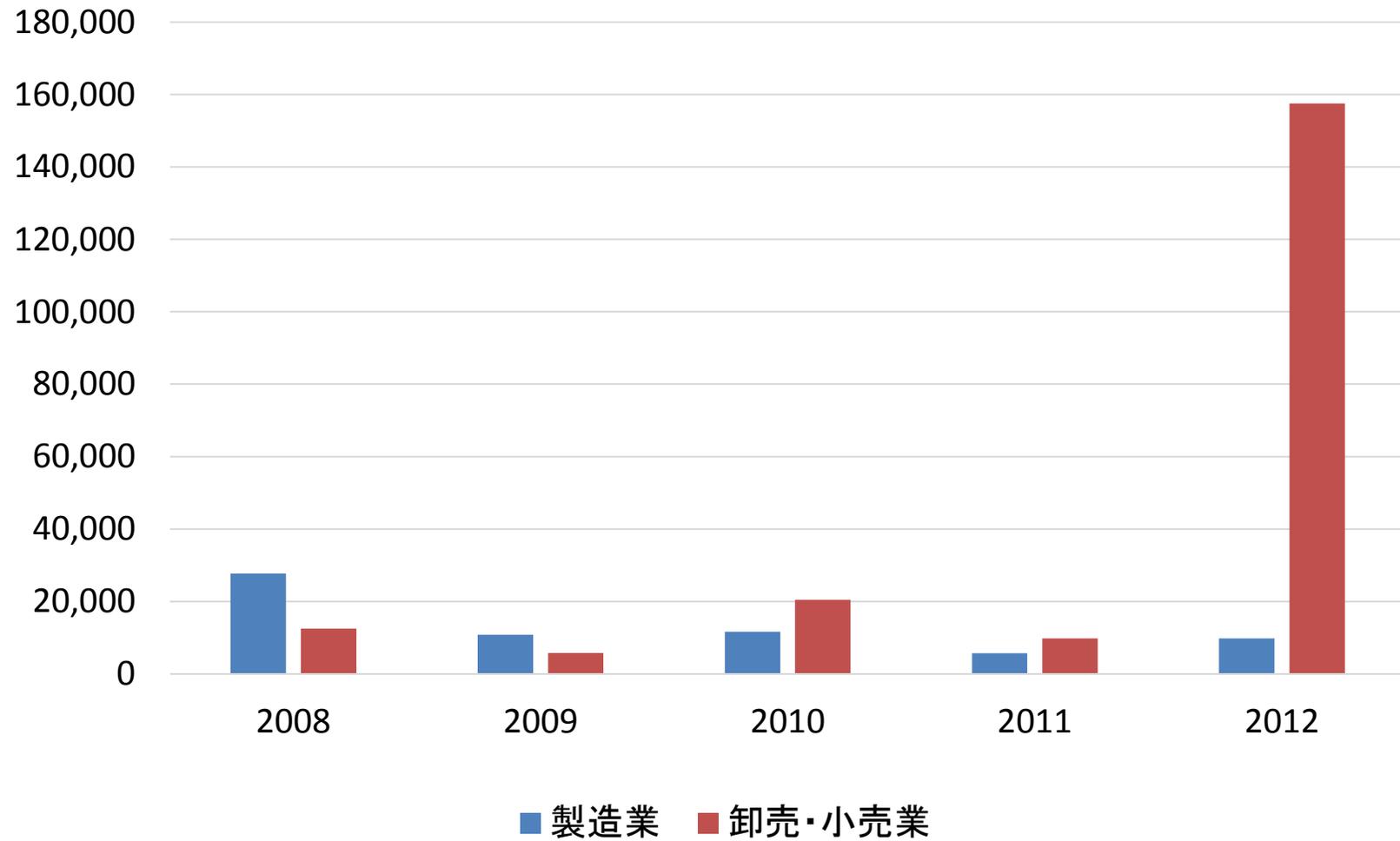
(1000 US\$, %)



出所: 韓国保健産業振興院, 各年度

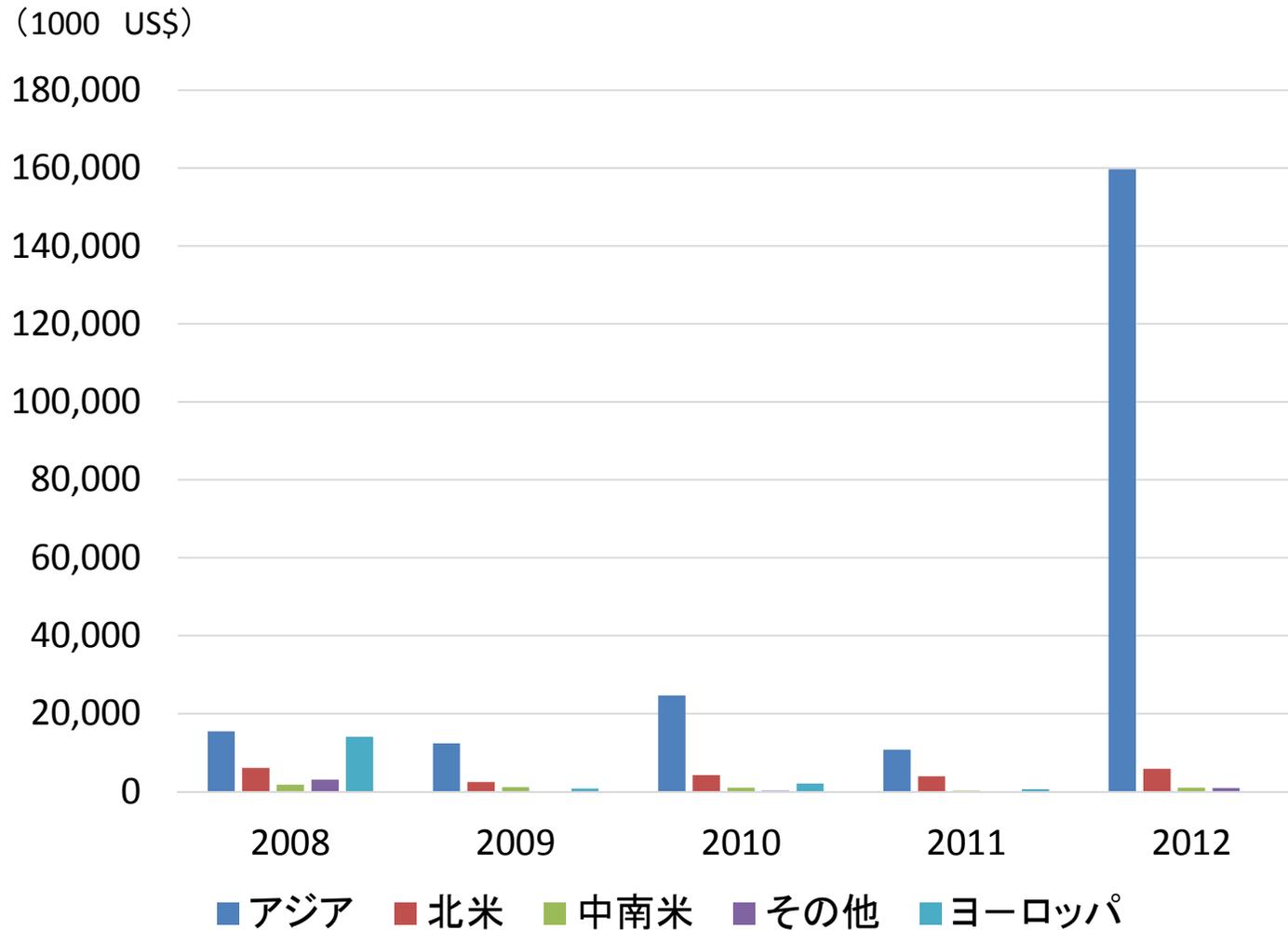
化粧品業種別海外投資現況(申告額)

(1000 US\$)



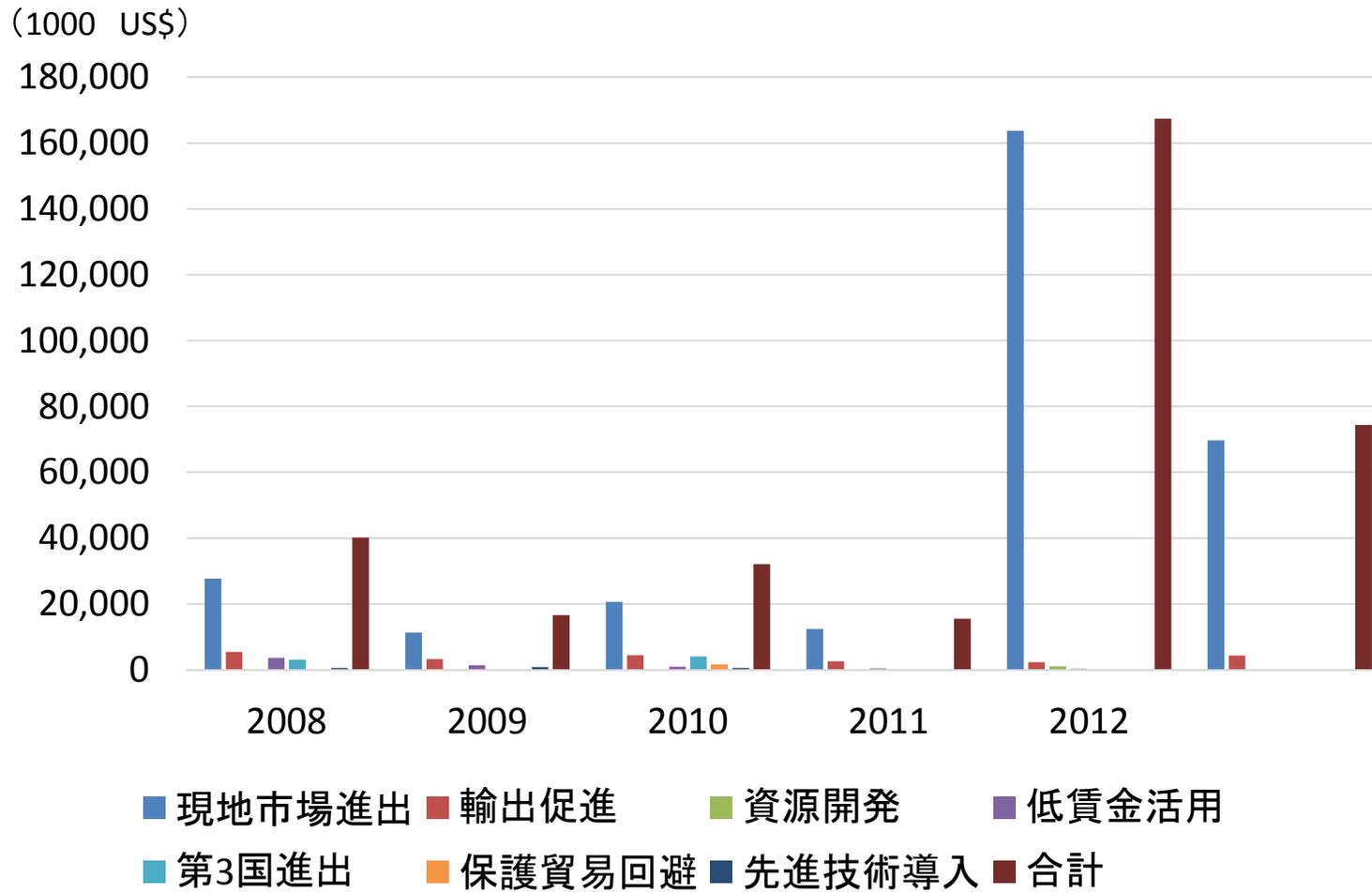
出所: 韓国保健産業振興院, 各年度

化粧品地域別海外投資現況(申告額)



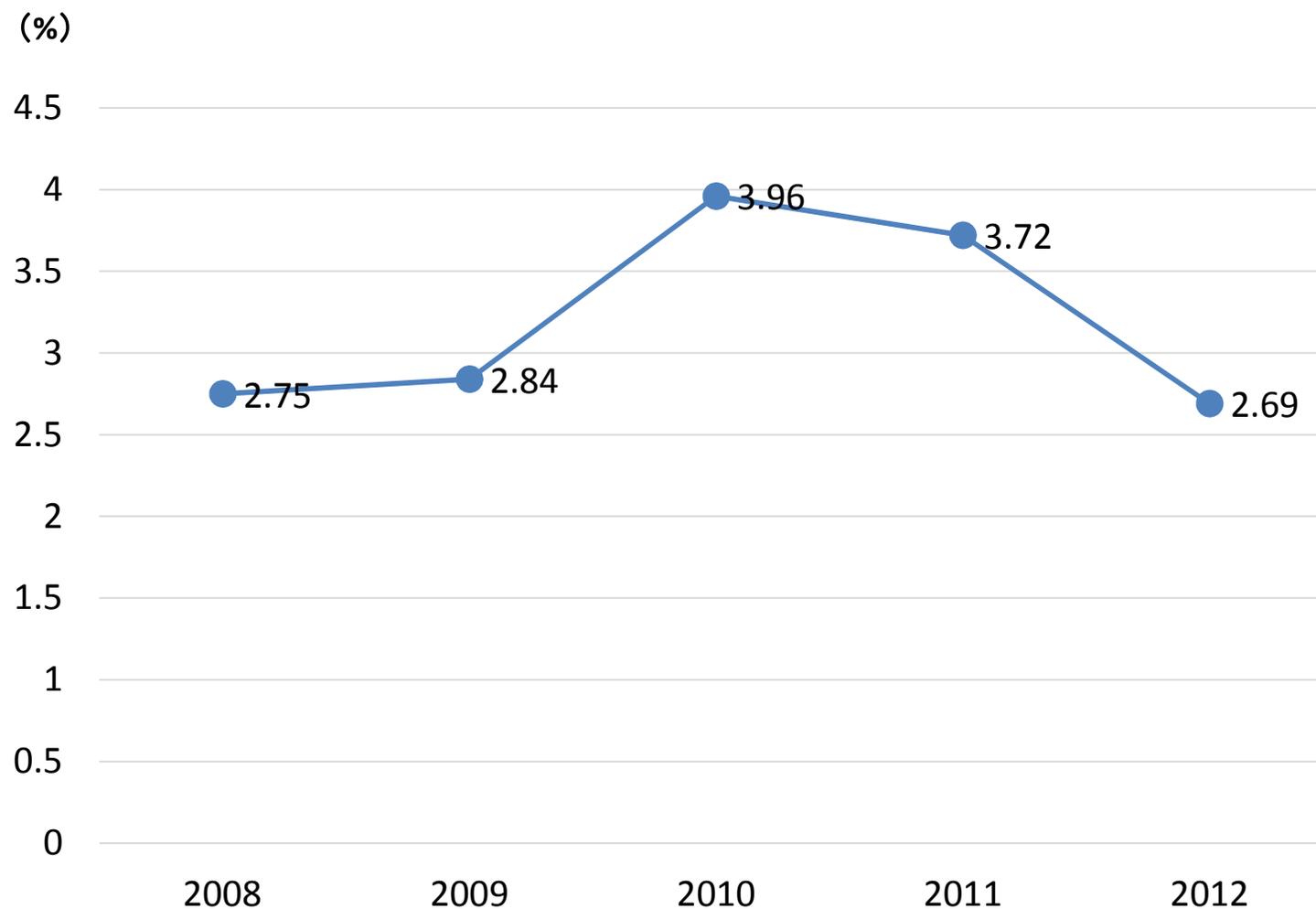
出所:韓国保健産業振興院, 各年度

化粧品投資目的別海外直接投資現況(申告額)



出所: 韓国保健産業振興院, 各年度

化粧品製造業の売上高対比研究開発費



出所：韓国保健産業振興院、2013年度保健産業研究開発実態調査・分析、2013

考察

- 化粧品市場の成長: 女性の社会進出、消費者の価値消費など
- 貿易収支の改善
- 海外進出
- 新しい流通チャネル(ブランドショップ, オンラインショップ, 大型小売業PB)の台頭→高品質, 安価な製品という消費者ニーズ
 - 新しいトレンドを早く取り入れ, 製品化できるか
- 機能性が高い高級ブランド品の展開
- 今後さらに韓国化粧品産業が発展していくために
 - 技術イノベーション: 安全で品質が高い製品の提供など
 - 研究開発: 新しい素材の開発
 - 海外直接投資先を多様化: リスクの分散
 - 海外進出先市場適合: 現地文化・生活習慣に合う製品の生産ができる企業体制の構築

今後の課題

- 韓国化粧品産業の競争優位性について研究を深化していく→十分に分析できてない
- 分析を深めていくため、インタビューなどで検証する